

2020年度 伊野地区自治協会 活動の重点（案）

2020,6,21

伊野将来ビジョン キャッチフレーズ

やって未来こい！ENO暮らし2030

ENO…笑顔でのんびりとお互いさまのコミュニティをつくろう

ENO（英語）…みんなのやる気（Emotion）で新しい(New)独創的な(Original)コミュニティをつくろう

2030…2030年までに、伊野地区住民と関係人口を含めて2030人の新しいコミュニティをつくらう。

重点1 伊野ビジョンを活用したまちづくりの展開

—10年後の伊野を想像した取組の一步を踏みだそう!—

(1)ビジョン・トーク&フォーラム

ビジョンについて理解し、意見交換を行う機会を各町内会や団体に設ける。

(2)アクション・プラン実行

各部会で今年度に取り組むアクション・プランを決定し、取組を開始する。

(3)人財育成

新たな人財発掘と人財の能力アップを図る取組を強化する

・学習会 ・先進地視察 ・伊野視察団体との交流

重点2 危機対応力強化

—危機に対応する近助力・地域力を大きくしよう—

(1)防災力強化

<ソフト面>

①地区災害対策本部体制強化

②各町内の防災力強化

③情報発信と情報共有の体制整備

<ハード面>

①伊野本線（金森・東地合工区）の整備事業推進

②斐川・一畑・大社線（地合工区）整備事業推進

③土木委員会「3カ年事業」推進

(2)ファースト・レスポnder(FR)の拡充

①各町内での救命講習会および隊員拡大

②役員体制見直し

重点3 伊野の食文化発掘

—幸せは食べることから—

(1)伊野の食文化の掘り起こしと発展

伊野の伝統食レシピ作成 伊野の食材一覧表作成

(2)食を通じた交流事業

伝統食講習会 伊野の食材を使った料理講習会 味噌やハム・燻製作り講習会 その他

(3)食と農

増加する耕作放棄地活用と地域ビジネス展開

(3)食と教育・健康・福祉

子育てママの料理講習会 えがもち作り 食と健康講座

(4)伊野の食文化発信

SNS活用 山里波や翠苑との連携

重点4 新しいコミュニティづくり

—2030人の新しいコミュニティを実現するための方略追求—

(1)関係人口を増やす

①ふるさと会員拡大

②関係人口・交流人口拡大

・伊野いち ・文化祭 ・トレイルラン

③関係人口の皆さんとの「関係」のありようについて検討

・参加の機会 ・参加の権利 ・オーナー制度 ・その他

(2)IUターン促進

①地区外に住む伊野出身者に対する働きかけ

②市・県と連携した伊野情報発信

③伊野暮らし体験

(3)空き家活用

①まちづくりの拠点としての空き家活用モデル事業を展開

②伊野地区の空き家調査

(4)伊野の自治・民主主義について検討

①自治協会、コミセン、各種団体等、地域運営組織について検討

②伊野地区の主要イベントの見直し